

2016年2月19日

トヨタ車体、2016 愛知環境賞「銀賞」を受賞 ～「こどもたちの未来へつなぐ活動」が高く評価される～

トヨタ車体株式会社（本社：愛知県刈谷市 取締役社長：岩瀬 隆広）は、地域との連携による「ふれ愛パーク」を活用した子供たちのESD*活動の推進が評価され、2016愛知環境賞「銀賞」を受賞し、2月18日（木）に名古屋市内（名古屋市中区 ローズコートホテル）で表彰式が行われました。

* ESD : Education of Development（持続可能な開発のための教育）

【愛知環境賞とは】

資源環境や環境負荷の低減を目的とした、先進的で効果的な技術・事業、活動・教育の事例を募集し、優れた事例に対する表彰を行うとともに、広く紹介することによって新しい生産スタイルや生活スタイルを文化として社会に根付かせ、資源循環型の形成を促進することをねらいとしています。

▼受賞テーマの名称

「地域連携による、地域に根付いたESD 子供たちの^{あした}未来につなぐ、ふれ愛パークプロジェクト」

▼受賞活動の概要

2014年5月、愛知生物多様性戦略2020に基づき、「人と自然との調和」をコンセプトに生き物の生息地の創出や生態系ネットワークの拠点、環境学習の拠点となる「トヨタ車体・刈谷ふれ愛パーク」を富士松工場北側に開設。

ふれ愛パーク内にあるビオトープでは、雑木場、湿地、水田、畑、果樹園など多様な自然環境を育て、刈谷北部に点在するため池や地域の水田などとの生態系ネットワークづくりを図っています。

また、ふれ愛パークを利用し、地域の子供たちの「気づきの芽」を育て、自立し、行動できるESDの視点を取り入れた環境学習を推進するための地域連絡会を発足し、地域住民、学校、有識者などと協働で田植えや稲刈り、水辺の生き物学習会などを推進しています。

トヨタ車体は、これからも地域との共生を目指し、自然と調和する工場づくりの推進を図ってまいります。



表彰式の様子
（左から 安井EPOC会長、
当社 石黒副社長、大村愛知県知事）



トヨタ車体・刈谷ふれ愛パーク
（農業体験・泥んこ遊び）



おかげさまで、会社創立70周年。みなさまに心から感謝。

